

# 伝えよう、おにぎり文化

# 豪イソグマイ道



- 小山 凜太郎 佐藤 叶望  
 内藤 輝 櫻井 真歩  
 阿部 洋都 中里 小冬那  
 佐々木 竜登 高橋 小紅



オーストラリアでのホームステイが、一番楽しみだった。たけど、一番不安でもありました。私たちのホストファミリーは、とても優しく温かくおかえてくれました。なので、緊張がほぐれ、たくさん話せました。私たちは英語が苦手な、聞きとれないことが多くありました。そんな私たちのためにホストファミリーは日本語に翻訳するアプリを使って見せてくれました。ですが、日本語が字幕だと思っただけで、中国語だった。ハアニングもありました。ホストファミリーには、ビーチに連れて行ってもらったり、サッカーをしたりしました。まるで本当の家族のようにつたので、私たちは手紙を書きました。ホストファミリーとのお別れは、とても悲しく、号泣してしまいました。

一日目  
 サッカーのゲームをしたり、おみやげを渡したりしました。  
 二日目  
 朝にビーチに行き、その後、午後にはサッカーをしました。  
 三日目  
 午前、ビーチで泳ぎ、お昼におにぎりを作りました。  
 最後のおまじないパーティーでは、別れが、とても悲しかったです。



## 大聖堂

## オペラハウス

一日目に見学に行ったオペラハウスでは、テレビや写真で見たのよりも大きく綺麗でした。オペラハウスの屋根は、白くけははなく、クリーム色も入っている。とても面白いと思っました。  
 オペラハウスはスタジアムやホールが合わさってできた二十世紀を代表する近代建築物であり、ジョン・ウツン氏が設計しました。ジョン・ウツン氏は当時無名でしたが、独創的な建築をすることでお名になりました。オペラハウスは今シドニーのみならず、オーストラリアのシンボルとして、世界中の人々に親しまれています。  
 その他にも、いろいろな観光スポットに行きましたが、個人的にオペラハウスが一番良かったと思います。食べ物や食事は、ウミネコがよってくるので、ココで食べることは、あまりオススメできません。

# DULWICH HIGH SCHOOL

私たちは2日目にダルウィッチハイスクールに行きました。まず、バズ(学校内を行動を共にする生徒)と対面し、モーニングティーを楽しみました。モーニングティーとはオーストラリアの独自の文化で、10時くらいになると、皆でお菓子を食べたり、遊んだりします。実際に体験してみると、皆フレンドリーで、色々な年の人がたくさん話しかけてくれました。知っている日本語を話そうとしてくれたり、共通の話題を探して、映画やマンガの話をしてもらいました。緊張がほぐれました！  
 授業体験では、ジエスチャーゲームや新たな生物作成をしました。ジエスチャーゲームでは、身ぶり手ぶりで自分の好きな動物やスポーツを伝えて、同じもの同士で集まったりします。ジエスチャーが上手な人もいれば、



## シドニー市内見学

### 大聖堂

一日目はオペラハウスやハーバリーブリッジ、オーストラリアミュージアムを見学しました。  
 オーストラリアミュージアムではアボリジニの使っていた骨などを見たり、化石や鉱物などを見ました。その後に、ミュージアムの近くにある大聖堂に行き、集合写真を撮りました。  
 オペラハウス

## 編集後記

このおにぎり大使に参加して、文化の交換をすることができました。ホームステイや学校訪問でも日本とオーストラリアの違いを学びました。みんな協力して活動することができました。中里 小冬那



4人組メンバー!!!